

金属プレス研修塾 近江産業を研修

日 時：令和5年12月1日（金）午後2時～4時

訪 問 先：近江産業株式会社 本社・鶴浜鉄工センター （大阪市大正区鶴町4-13-13）

内 容：挨拶、会社説明、鶴浜鉄工センター見学、質疑応答など

参 加 者：17名（塾生 15名、関係者 2名）

金属プレス研修塾は10月に製鉄所（神戸製鋼所）にて鉄鋼材料の製造工程の研修を行ないましたが、続けて今回は近江産業株式会社を訪れてコイルセンターの研修を行ないました。

近江産業株式会社は1950年（昭和25年）10月に設立、資本金1億円、従業員約100名のコイルセンターです。コイルセンターとは鉄鋼メーカーで製造された鋼帯（通常「コイル」）を仕入れ、お客様向けに加工して販売する鉄鋼流通加工業者を指します。お客様の仕様に基づいてコイルを輪切りにする加工をスリット加工、鋼板（以下、シート）にする加工をレバラー加工、そのシートを更に小さなシートにする加工をシャーリング加工と呼びます。

近江産業株式会社の特徴として材料を販売するのみではなく、併設された近江テクノメタル株式会社にて抜き・曲げ・プレス・溶接などの板金やレーザー加工も一貫して行うことができます。また材料は船で入荷して岸壁からクレーンで荷卸しされトラック輸送の必要がありません。お客様には納期短縮やコスト削減の付加価値が大いにありそうです。

見学を通して一番印象的なことは、安全面です。通路の色分け、動線の確保、センサーや天井ホロライトの設置などあらゆる所に安全に対する配慮と工夫がみられました。見学中に作業員の方が全員挨拶して頂いていたことも深く印象に残りました。



近江産業様から会社説明



岸壁から材料を搬入するクレーン



見学の様子



集合写真（本社の玄関前）